

取組名称	キャンプを極め 子ども達と楽しもう
団体名	上村まちづくり委員会 遠山郷しぜんとあそぼう どんぐり隊
代表者氏名	古瀬 知也
地区名	上村

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の将来を担う子供たちに、ふるさとの自然や環境に対する意識を高めてもらう。</li> <li>・子供たちの意識が高まることで、将来の地域づくりへつながる。</li> <li>・子供たちは地域の伝統文化に触れ、地域住民との交流をする。</li> <li>・先輩住民から技術の習得のための講習会を行いメンバーは自らのスキルアップや自らが動く大切さを学ぶ。</li> </ul>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動拠点づくり(遊休公共施設の活用)</li> <li>・上村保育園裏山フィールドの設置したウッドデッキの保守管理及び草刈り</li> <li>・防災を視点にしたキャンプ技術の習得及び実践</li> <li>・上村小学校「KGC自然塾キャンプ」への協力(木工体験・防災キャンプ)</li> <li>・ユニフォームづくり</li> <li>・お茶畑の整備(台切り、製枝、除草、施肥など)</li> </ul>



説明 KGC自然塾キャンプでの指導



説明 ウッドデッキのメンテナンス



説明 どんぐり隊まつりin winter



説明 台切作業 根元から切ります

取組の経過	<p>地域の子供達や県内外の子供達の交流をはじめ、遠山郷のエコパーク・ジオパークを活かした自然体験プログラムの構築・実施。地域資源(施設・フィールド等)の利活用を考え、住民の居場所作り、また子育て世代の移住定住につながることを目的に発足。</p> <p>Z世代～まもなく後期高齢者の仲間入りをする幅広い年齢層で構成。</p> <p>1年目は、ツリーハウスを作りたいという希望があり、大町市へ視察研修を実施。</p> <p>2年目は、地域の子供達のお遊び場づくりとして保育園裏山のウッドデッキを設置。その他、地域の地形や地質に関する学習会を開催し、小学生と一緒に防災キャンプを開催した。</p> <p>3年目の今年は、活動の定着しつつあり、仲間づくりのためユニフォームを制作。また、地域の特産品でもあるお茶に着目し、将来的には特産物の開発にも取り組めるよう、荒廃した茶畑の再生に取り組んだ。</p> <p>活動を多くの人に知ってもらいたい、いろんな人と交流したいとの思いから、どんぐり隊まつりin winterを開催。地元の猟師から鹿の角を分けてもらい「輪投げ」を作成。多くの子供たちと交流することが出来た。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に住んでいても交流することが少ないZ世代や子育て世代の交流ができた。</li> <li>・保育園や小学校との交流やつながりができた。</li> <li>・活動も3年目になり、同じユニフォームを着用し活動することで、メンバーの一体感が生まれた。</li> <li>・地域長いの人と、コロナ禍でも感染対策をしながら交流することができた。また地域外のメンバーも増えた。</li> <li>・茶畑の管理方法について、長野県の農業農村支援センターの協力をいただくことができた。</li> <li>・活動拠点となる遊休公共施設の活用方法について、市長と直接懇談会を開催し要望することができた。</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動拠点となる施設の活用や整備の計画を立案</li> <li>・どんぐり隊まつりの開催(四季での開催を目指す)</li> <li>・どんぐり隊の横断幕の制作</li> <li>・南信濃地区の若者活動グループとの交流</li> <li>・保育園裏山のウッドデッキメンテナンス</li> <li>・小学校のKGC自然塾キャンプへの協力</li> </ul>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	203,953(見込み)
	うち助成金(見込み)	147,000(見込み)
主な経費内訳 (上位3項目)	ユニフォーム製作	78,100
	薪割道具一式	40,640
	ポータブル放送機器	18,999

取組名称	天龍峡「花の里推進活動」
団体名	天龍峡温泉観光協会 天龍峡アヴニール倶楽部
代表者氏名	牧内 健
地区名	川路天龍峡

取組みの目的	天龍峡は天龍峡大橋が完成し、観光客が飛躍的に増えることが予想されておりますが、地元にとって天龍峡大橋のみを見て帰ってしまうお客が多いことが懸念されております。何とか工夫をして、姑射橋付近まで下りてきていただき、本来の天龍峡を楽しんで頂き、その結果として天龍峡の街が活性化することを大きな目標として活動しております。
具体的内容	<p>天龍峡の魅力をアップさせ、天龍峡大橋を訪れた観光客に景勝地まで下りて来て頂く為に下記の活動を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 月1回の定例作業にて、天龍峡公園の下草刈り、樹木剪定を行い、龍角峯及びつつじ橋の眺めを良くしました。</li> <li>2. 歌に歌われた岩間つつじが川岸に少なくなってしまうので、飯田市林務課支給のみつばつつじを川岸に植栽しました。</li> <li>3. 姑射橋から上流を眺めた時に映える様に、天龍川上流に菜の花を栽培しました。</li> <li>4. 天龍峡ナイトミュージアムに協賛し、場内警備及び駐車場警備活動を行いました。</li> <li>5. 天龍峡龍のマーケットに協賛し、竹宵の制作、設置を行いました。</li> </ol>



説明 天龍峡公園みつばつつじ移植作業



説明 天龍峡公園下草刈り作業



説明 ナイトミュージアム準備作業



説明 天龍峡四季の花育成活動

取組の経過	<p>上記活動を推進する為に、月1回の会員による定例作業を行いました。更に菜の花育成に関しては、川路菜の花愛護会の指導を受けながら、シニア大学41期生の有志の協力を得て広大な菜の花畑の造成を行っております。</p> <p>①2月：天龍峡ナイトミュージアム警備協力  ②3月：北駐車場一帯の草刈り実施  ③4月：天龍峡第1公園一帯の満天星ツツジ剪定  ④5月：ツツジ橋付近にミツバツツジ30本植栽  ⑤6月：天龍峡「龍の夜マーケット」竹宵用竹の切り出し  ⑥6月：天龍峡「龍の夜マーケット」竹宵制作  ⑦7月：北駐車場一帯の草刈り  ⑧8月：菜の花畑草刈り  ⑨9月：菜の花種まき(シニア大学41期、川路菜の花愛護会と協働作業)  ⑩10月：天龍峡公園草刈り  ⑪12月：天龍峡ナイトミュージアム会場下枝剪定  ⑫12月：天龍峡ナイトミュージアム警備協力</p>
取組の効果	<p>1. みつばつつじの植栽に関しては、3年間毎年30本移植し、合計90本移植しました。厳しい環境の為にどのくらい育つか不明ですが、少しずつ確実に育っております。</p> <p>2. 菜の花の育成に関しましては、毎年4月頃には美しい花が咲き、近くの幾島桜と花の咲く時期が同じであり、地区の皆さん、観光客の皆さんに喜んでいただいております。</p> <p>3. 遊歩道の整備、下草刈りは、膨大な公園であり、限られた人数での作業では回りきっていませんが、眺望は確実に良くなっており、観光客に喜んでいただいております。</p> <p>4. 天龍峡ナイトミュージアム、天龍峡龍のマーケットに関しては、大きなイベントに育ってきており、天龍峡への集客につながっております。</p>
今後の取組	<p>「天龍峡アヴニール倶楽部」を中心に天龍峡の魅力UPに向けて下記の活動を継続して推進して参りたいと考えております。</p> <p>1. 天龍峡の隠れた観光資産を世に売り出す計画を進めて参ります。</p> <p>2. 山桜の植栽に関しては、時間がかかる為、諦めずに計画を進めて参ります。</p> <p>3. 岩間つつじの植栽に関しては、苗の育成が課題であり、次年度計画したいと思います。</p> <p>4. 菜の花の植栽に関しましては、菜の花の有効活用を検討し、菜種オイル等による街おこしを検討して参ります。</p> <p>5. 遊歩道、公園内の整備活動、四季折々の花育成活動は継続して進めて参ります。</p> <p>6. その他「天龍峡ナイトミュージアム」への協力等、天龍峡の魅力UPとその発信を会員の英知を集めて計画化して参りたいと考えております。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額	446,960円
	うち助成金(見込み)	300,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	天龍峡公園内下草刈り作業用道具	202,482円
	花苗代	73,726円
	培養土、肥料代	63,408円
	その他	107,344円

取組名称	佐倉さまの眺望は良いぞ
団体名	佐倉さま桜まつり実行委員会
代表者氏名	宮下 博
地区名	北方

取組みの目的	<p>本会は、北方佐倉公園における南アルプスの眺望や緑豊かな自然環境を整備、保全することを基本におき、身近な里山として環境整備を推進するとともに、桜まつりを通じて北方地域内外にその魅力を発信することにより、地域資源の有効活用による活性化を推し進める中で、伊賀良地区の発展に寄与することを目的とする。</p>
具体的内容	<p>11月より桜まつりにおける事業会議を進める          4月10日桜まつり開催 800名ほど来場          9月森林空間整備作業(下草刈り・桜の管理・)          良好な景観維持と自然環境保全の推進          地域の各種団体との交流会合</p>



説明

お祭り風景



説明

佐倉さま桜風景



説明

子供達の丸太切り体験



説明

桜まつり家族連れ

取組の経過	<p>飯田市内では、沢山の桜の名所があり、お祭りが開催しております。その中で、佐倉公園は非常に傾斜地にある公園であります。その分、南アルプスの眺望や飯田市街地を見渡すには、素敵な場所であるというのと、昔は、佐倉さまが桜の名所でお花見がされてたということでした。なんとしても、以前の賑わいとまではいかなくても、佐倉公園の名所の復活にと思い、佐倉公園で桜まつりを行おうと思ひ、現在、第4回まで開催することが出来ました。また、お祭り以外でも、保全活動を毎年実施しており、地元の大切な公園にみんなが協力して下さって佐倉公園を地元のみならず、全国に知られる公園になればと頑張っています。</p>
取組の効果	<p>一年目の桜まつりから、年々と来場客も増え佐倉公園も認知されだしました。また、地元の各種団体も佐倉公園の管理(環境整備)等に参加しております。祭りの準備は11月から話し合いを始めお祭りに備えてきました。巡回車の手配・巡回ルート、駐車場の確保など準備してお祭りに向かいました。その結果、今までの中で、一番の来場者が来られました。</p>
今後の取組	<p>今後の取り組みとして、西部山麓地域全体で、南アルプスの眺望を活かしたイベント等を考え、来るリニア時代に少しでも飯田の良さをアピールしていく為に、この南アルプスの眺望を眺めれる西部山麓地域の活性化を考えていく必要がある。この山間は都会の人から見ればのんびりした憩いの空間なのかもしれない。都会へ、この田舎の良さをSNS等で発信して、足を運んでいただける町にしたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	330,000
	うち助成金(見込み)	220,000
主な経費内訳 (上位3項目)	リース費	76,006
	リース車及び運転手代	40,700
	藤本バンド謝礼	30,000
	桜まつりチラシ	30,000

取組名称	“地域を元気に”龍江桜並木にイルミネーションの花を咲かせよう。
団体名	龍江天竜峡桜街道桜並木愛護会
代表者氏名	宮内久幸
地区名	龍江地区

取組みの目的	龍江の誇る八重桜街道(愛称 シャルルベル・メジェール通り)は春には素晴らしい花を2kmにわたり咲かせています。夏には「緑もゆ桜並木」秋には「紅葉」も見事です。地元の方にはもちろん他県、他地域の方々にも楽しんでもらっています。しかし、冬には特に魅力的なものがなく閑散としています。これを《イルミネーション》を点灯させ「地域の元気」「地域の魅力」につなげたい。また、天竜峡一体の活性化への貢献と「シャルルベル・メジェール通り」の魅力の一つとしたい。
具体的内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 龍江桜並木愛護会の役員会を開催し、「龍江桜並木にイルミネーションの花を咲かせよう」の事業推進を決定する。</li> <li>2. 具体的な内容を検討する。内容(開催時期、点灯時間、規模の決定、イルミネーションの参加者の募集方法。電気工事、コンセントBOXの作成等を検討する。)</li> <li>3. 経費の検討をする。(会員の中にある電気工事等資格者に依頼も検討する)</li> <li>4. 近隣地区への周知方法について地元紙、報道機関、チラシ等を検討する。</li> <li>5. 安全対策について</li> </ol>



説明

イルミネーション設置説明



説明

イルミネーション設置作業



説明

イルミネーション見学



説明

イルミネーション点灯

取組の経過	<ol style="list-style-type: none"> <li>10月20日 龍江桜並木愛護会にて天竜峡八重桜街道にイルミネーション設置を決定する。目的:「地域を元気に」龍江桜並木にイルミネーションの花を咲かせよう。点灯期間:1月15日から2月11日(28日間)点灯時間:19:00~21:00まで 規模:500m 電源BOX:50個 電源工事は後日とする。イルミネーションの借用:個人所有のイルミネーションの提供を龍江新聞で周知を図る。取り付け作業:1月15日15:00から 作業者は提供者、桜会員、ボランティア等に依頼 点灯式:1月15日 18:00から</li> <li>10月27日 電源調査:現在の200Vを100Vに変更情事を実施。(電気工事士資格会員による作業)</li> <li>12月2日 飯田CATV、月間飯田、新聞社等に連絡する。</li> <li>12月18日 イルミネーション参加者が50件を確保した。</li> <li>1月15日 13:00 イルミネーションの飾り付け実施。参加者約80名 18:00 点灯式「シャルルベル・メジェール市」から飯田文化会館に勤務されています「ダコタ・ミドウ」さんをお招きして点灯セレモニーを実施した。</li> <li>2月12日 13:00 イルミネーションの撤去予定。</li> </ol>
取組の効果	<ol style="list-style-type: none"> <li>イルミネーションの参加者が地元の人をはじめ企業の参加もあり予定以上に集まり関心の高さを感じ大変良かった。</li> <li>多数の方の見物があり、喜んでいただいた。</li> <li>「地域の元気」「地域の魅力」「地域の活性化」に少しではあるが役に立てたと感じられた。</li> <li>イルミネーションの取り付け作業等で地区の人たちが、目的のために全員がひとつになれた。</li> <li>「イルミネーションの花」を咲かすことができた。</li> <li>某民放TV局でイルミネーションの放映があった。</li> </ol>
今後の取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>今後、規模等も考えこの事業を引き続き実施していく。</li> <li>「イルミネーションの花」を少しでも多くの人に知ってもらうようにPR等を考えることとする。</li> <li>イルミネーションの設置規模をもう少し増やしてはどうかとの意見があった。</li> <li>点灯時間を早めてほしいとの要望がある。(1月30日から点灯時間を18:00~20:00に変更した)</li> <li>イルミネーション賛同者を地元のみならず、多方面からも参加してもらうようにしたらどうか?</li> </ol>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		213,000
うち助成金(決定)		144,000
主な経費内訳 (上位3項目)	イルミネーション用電源ボックス 50個	195,000
	消耗品	13,000
	電気料	5,000



取組名称	子ども自らが調理をする子ども食堂
団体名	もぐもぐキッチン・ララ・ランチ
代表者氏名	林 静子
地区名	龍江

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事が満足に取れない子ども達の存在を少しでも解消する。</li> <li>・親が居ないとき或いは親が忙しくて十分な食事を子ども達に与えられないときも、子ども達が自主的に食事作りをできるようにする。</li> </ul>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1～2回、飯田市公民館（ムトスぶらざ）調理室を主会場にして子ども食堂（ララ・ランチ）を開催した。</li> <li>・もぐもぐキッチン・ララ・ランチは会員5名（管理栄養士3名、飯田市支援主事1名、民生児童委員1名）にて運営した。子ども食堂が子ども達の居場所になり、さらに食の自立に繋がるようにした。</li> <li>・電気釜を主体にして火を使わず、包丁の使用も限定的にした安全な調理を目指す。年間計画のメニューは「ごはん、味噌汁、ゆで卵」で始まり、回を追うごとにレベルを上げていった。Xmas月には電気釜でXmasケーキ作りにも挑戦した。</li> <li>・子ども食堂（ララ・ランチ）の定員は20名、参加料は無料で実施した。</li> </ul>



説明 調理室にスタッフ勢揃い



説明 スタッフのみの調理（コロナ対策）



説明 保護者も加わり調理中



説明 Xmasケーキの出来上がり

取組の経過	R4. 5. 1 子ども食堂もぐもぐキッチン・ララ・ランチ設立。 R4. 7. 31 第1回開催 R4. 8. 28 第2回 R4. 9. 25am 第3回 R4. 9. 25pm 第4回 R4. 10. 10 第5回 R4/10. 23 第6回 R4. 11. 20 第7回 R4. 12. 10 第8回 R4. 12. 18 第9回 R4. 12. 24 第10回 R5. 1. 14 第11回 (予定) R5. 1. 29 第12回 (予定) R5. 2. 5 第13回 (予定) R5. 2. 26 第13回 (予定) R5. 3. 26 第14回 (予定)
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習の回を重ねるごとに、子ども達は調理の基本（米の計量・洗い方、衛生、電気釜の使い方、盛り合わせ方法、食材と栄養バランス等）を習得していった。</li> <li>・参加者とスタッフの信頼関係が育まれて、食育に関する質問も寄せられるようになった。</li> <li>・一般の子ども食堂は食事の提供の実であるのに対して、子ども食堂もぐもぐキッチン・ララ・ランチでは子ども自らが調理する活動であるため、子ども達の充実感は大きかった。</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は飯田市公民館（ムトスぶさぎ）を主会場に子ども食堂もぐもぐキッチン・ララ・ランチを実施してきたが、今後は飯田市内他地区でも実施したい。</li> <li>・子ども食堂もぐもぐキッチン・ララ・ランチ方式の子ども食堂を立ち上げたいグループには、ノウハウを提供したい。</li> <li>・子ども食堂が単なるイベントに終わらないために、これからも公民館の支援をいただきながら情報発信していきたい。</li> <li>・一般社団法人未来地図のわくわくキッチンクラブ活動への協力。</li> </ul>

○取組経費 (単位：円)

	事業費総額 (見込み)	333, 800
	うち助成金 (見込み)	178, 660
主な経費内訳 (上位3項目)	備品費 (電気釜)	103, 800
	事業費 (エプロン、調理着、食器等)	50, 000
	事務費 (交通費、文房具等)	40, 000